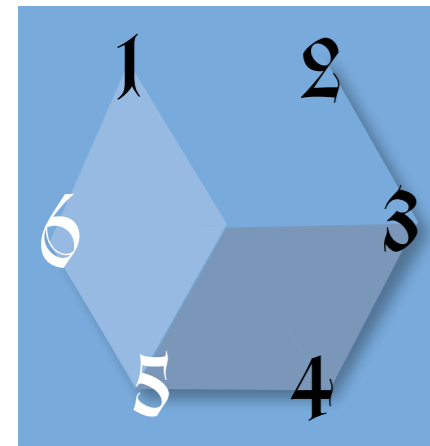


東京神学大学とは

合同神学校（ユニオン・セミナリー）としての東京神学大学

1870年代に設立された最初期のプロテスタント教会は「公会」という名称を用いつつ、超教派的教会をつくらうとする志向をもっていました。本学の合同神学校としての特色は、この超教派主義的志向にルーツがあると言えます。しかし実現までには時間がかかりました。その後、第二次世界大戦の戦時体制下にあって30を超える教派が合流し、1941年に日本基督教団が創立されます。それに伴い、関係諸神学教育機関も合同していきます。多くの神学教育の伝統を吸収しながら、1943年には日本東部神学校、日本西部神学校、日本女子神学校が生まれ、それらが合同した日本基督教神学専門学校時代を経て、1949年に新制大学として東京神学大学が誕生します。そういう意味で、東京神学大学は日本のプロテスタント諸教会が総力を挙げて育んだ最上の伝統を受け継ぐ、合同神学校なのです。ちなみに、東京神学大学の英語名は、Tokyo Union (合同) Theological Seminaryとなります。



伝道者を養成する大学としての東京神学大学

東京神学大学は、日本では数少ないキリスト教神学専門の単科大学です。本学は教会によって建てられ、支えられてきた学校でありますから、主として諸教会に仕える牧師・伝道者を、さらにキリスト教学校、その他キリスト教関係の施設（病院等）に仕える牧師・伝道者を育成することを使命としてきました。キリスト教の牧師・伝道者として十分に整えられるためには、充実した学びが必要です。そのため、東京神学大学では、学部から大学院の修士課程（博士課程前期課程）までの一貫した神学教育プログラムを提供しています。このため、ほとんどの学生が、学部1年から入学した場合は、学部4年間と大学院2年間の計6年間、学部3年に編入学した場合は、学部2年間と大学院2年間の計4年間かけて神学を学びます。さらに博士の学位を取得することのできるプログラム（博士課程後期課程）もあります。

神学教育とは

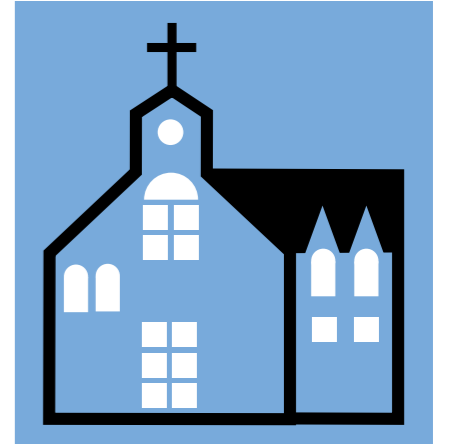
「敬虔と学問」という言葉があります。「信仰と理性」「祈りと神学」と言い換えてもいいでしょう。神を畏れ、神を礼拝することがすべての土台です。しかしそれは必ず、神をもっと深く知り、神の恵みをもっと深く味わおうとする絶えざる探求へと至ります。それによって、もっと高らかに神をほめたたえることとなります。このようにして、敬虔と学問とは深く結びついているのです。

東京神学大学は大学であるのにまさって神学校なのであって、ここでの学びにおいては、まさしく敬虔と学問の両者が求められます。生きておられる神を喜びたたえることなしに神学を学ぶことは、自分を高慢にするだけのまことに虚しい営みです。神学的な反省なしに教会に仕えようとするなら、たちまち間違え、異端的になることさえあるでしょう。敬虔が養われることと学問が磨かれることが結びついて初めて、健全な神学教育が行われることとなります。



教会による、教会のための大学としての東京神学大学

東京神学大学は、その創立の歴史からもはっきり分かるように、日本のプロテスタント諸教会が生み出してきた良き神学教育の伝統を引き継ぐ大学です。そういう意味で、本学は教会によって設立された大学であり、現在も実際に教会によって支えられながら成り立っている学校です。具体的に言えば、本学の神学生が必要とする経費のうち、およそ半分は全国各地にある諸教会およびそこに属する信徒の皆さんからの献金によっています。本学の特質を良く理解してくださる諸教会が、全国各地に後援会を組織して、祈りと献金によって支えてくださっているのです。それゆえ、東京神学大学の使命はまず、そのような諸教会のために奉仕する神学教育、神学研究をすることです。



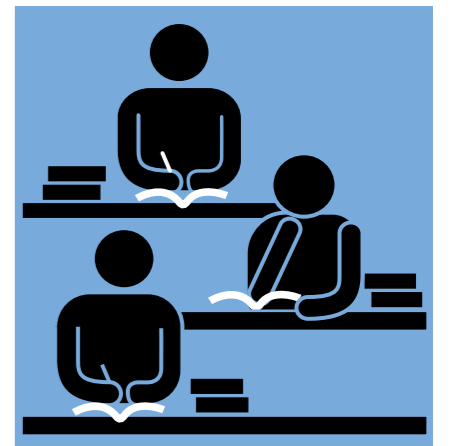
キリスト教主義学校の伝道への協力

教育は人間を人間として形成するための働きかけです。人間が人間となるためには造り主であり救い主である神を知ることがどうしても必要です。ですから、まことの教育がなされるためにキリスト教教育が果たす使命は大きいのです。キリスト教学校が日本の学校教育の中で大きな位置を占めていることは神の祝福です。

多くのキリスト教学校は学校礼拝をささげ、聖書科の授業を行います。それらを中心としたキリスト教教育の担い手となるのが宗教主任（チャプレン）、聖書科教師です。宗教主任、聖書科教師はひとつの教科（聖書科）の教員であることにとどまらず、学校を働き場とする牧師・伝道者として、学校での伝道を推し進め、生徒と教職員全体の牧会にあたるのが望ましい形であると言えます。

神学研修志望とは

東京神学大学は、伝道者・献身者の養成を第一の目的とし、そのための神学の研鑽と教育に励んでいます。しかし、近年の教会の実情と必要に応じて、「教会の信徒として教会によく仕え、また社会に貢献したい」という志をもつ方についても「神学研修志望」として神学部神学科への若干名の入学を受け入れることになりました。できれば、そのような方々の中から、さらに将来、伝道献身を志す方が現れることを願っています。



開かれた学び — 公開夜間神学講座

信徒のために開講されている夜間の神学講座です。すでに70年の歴史を有し、これまでの受講生は1000名を超えています。毎週月曜日と金曜日の夜6時から8時に銀座教会・福音会センター 地下の会議室で行われます。講師陣は東京神学大学で教鞭を執る教師たち。聖書学、教義学、歴史神学、実践神学、キリスト教教育、美術等、多方面にわたる講義を2年間かけて受講します。科目受講生や聴講生のコースもあります。神学を学びたい方ならどなたでも受講することができます。